

第1回港湾審議会での意見と対応

意見	対応
特になし	—

第2回港湾審議会での意見と対応

意見	対応
防備隊で施設の拡充を計画しているようなので、その辺も情報共有して将来計画を進めて欲しい	・連携して進めていきます。
①p14 北防波堤の越波の写真があるが、このような現象の発生確率はどのくらいか。今後の整備の方針検討のため、把握しておくべきである。	・写真は2024年1月25日のもの。 ・この写真の波浪は5年確率波相当であることが確認されています。
②p33 道路幅7mとしているが、2車線を確保する必要があるか利用状況を踏まえた整理が必要	・岸壁に車を駐車して出漁に行くため、1車線では狭い。通行帯と停車帯の2車線分相当の幅が必要となります。
③ p34 岸壁10m、道路7m、3m前出しとあるが、図に齟齬がないか確認が必要。また、右岸側の梅川の影響範囲内なのか。	・拡幅幅については4mに見直しました（護岸側のみ4m拡幅とする） ・荷捌き所前の岸壁延長減となるため、実施時には河川の影響範囲を踏まえ（護岸腹付けも考慮し）、前出し幅を検討する旨を注意書きしました。 ・梅川の影響範囲については北海道に確認中です。
④p40 将来イメージで防備隊のところに国土強靱化機能と記載があるが、国家安全保障や国家防衛機能等の機能ではないか。また、貨物の岸壁を国土強靱化機能に位置付けているが、対象船舶の水深が確保されているかの確認も必要。	・防備隊について、国土強靱化に関して災害支援も実施することを素案に追記するとともに、国家の安全に関する機能についてもコメントを追加しました。機能は「国防・国土強靱化」としました。
⑤p42 整備スケジュール案では、R7からと開始となっているが、具体的に工事等が開始されるのか。また、今後、どのような事業を活用するか、事業化に向けた検討も必要である。	・短期、中期、長期について、7年、7年、6年とし、事業化検討の欄を追加しました。

(注；上記のページは、第2回港湾審議会資料に対応したページのため、パブリックコメント時の資料とはページが異なる)